NEWS RELEASE

Switch! SUSTAINABLE TRAIN

もっとつながる。未来が動き出す。

2026 年 11 月 18 日
西日本旅客鉄道株式会社
東京海上スマートＧＸ株式会社

JR 西日本×東京海上スマートＧＸ
サプライチェーン全体の脱炭素化に向けた連携を開始

西日本旅客鉄道株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役社長：倉坂昇治、以下「当社」）は、東京海上スマートＧＸ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：玉木 淳、以下「東京海上スマートＧＸ」）と連携し、2026 年 11 月より、サプライチェーン全体の脱炭素化を進める取組みを開始します。本連携により、JR 西日本が有するサプライヤー様との対話と、東京海上スマート GX の専門性やソリューションを組み合わせ、サプライヤー様の脱炭素化に向けた削減行動まで後押しすることが可能となります。

１．取組みの背景・目的

当社は、サプライチェーン全体の GHG 削減に向け、サプライヤー様との対話（エンゲージメント）を実施してまいりました。具体的には、CDP サプライチェーンプログラムへの参加によるサプライヤー様の GHG 排出量の把握や、サプライヤー様向け説明会や個別の対話を通じ、GHG 排出量の算定・開示に向けた取組みを支援してきました。

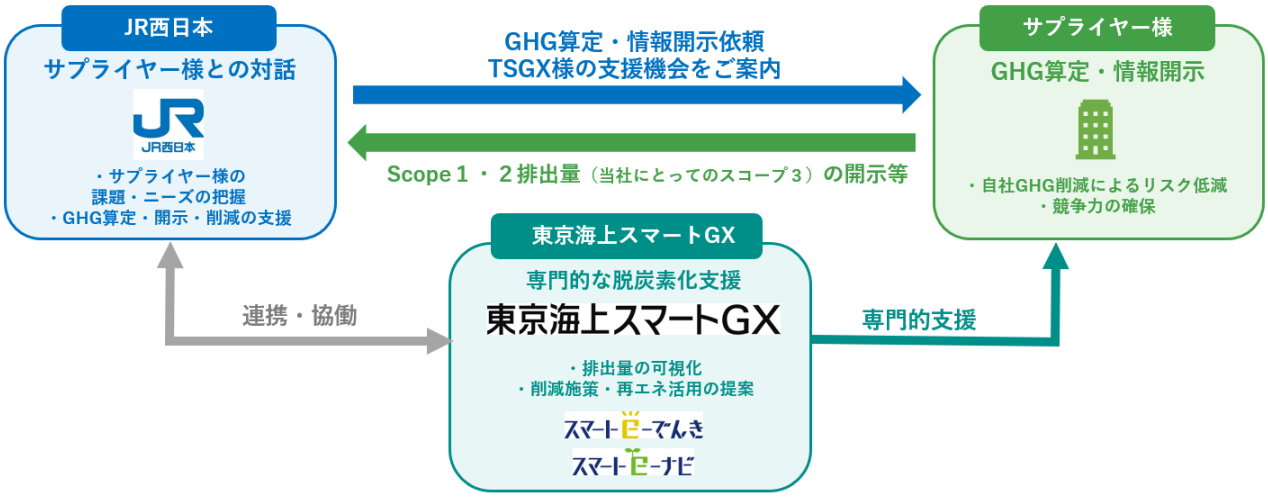
当社は、「JR 西日本グループ中期経営計画 2030」で、Scope3 排出量の削減に向け、主要サプライヤー様へのエンゲージメント率 100％を目標として掲げています。JR 西日本グループが目指す「持続可能な社会への貢献」と、東京海上グループが掲げる「社会課題の解決を通じたサステナブルな未来の実現」という両社の目指す姿が一致したことから、両社はサプライチェーン全体の脱炭素化を推進するパートナーとして連携することとなりました。

今回の東京海上スマートＧＸとの連携は、これまで進めてきたサプライチェーン全体の GHG 削減の取組みの一環として、サプライヤー各社様の課題や状況に応じた脱炭素化への取り組みの選択肢を広げ、自主的な脱炭素化の取組みを後押しするものです。

２．取組みの概要

本取組みでは、脱炭素化に関心を持つサプライヤー様に対し、排出量の把握や削減施策の検討に役立つ情報・サービスを案内し、各社の自主的な取組みを後押しします。当社は、サプライヤー様との対話を通じて各社の課題やニーズを確認し、希望するサプライヤー様へ東京海上

スマートＧＸの脱炭素化支援サービスをご案内します。東京海上スマートＧＸは、サプライヤー様からのご相談に応じ、GHG 排出量の可視化や再生可能エネルギーの活用など、各社の状況に応じた支援を行います。



※サプライヤー様に関する情報は、各社の意向を確認したうえで取り扱います。また、サービスの利用は各社の任意の判断によるものであり、利用の有無が当社との取引条件や取引評価に影響することはありません。

※具体的な支援内容やサービスの利用については、各サプライヤー様のご意向に基づき、個別に検討します。

３．今後の展開

2026 年 11 月以降、当社とサプライヤー様との対話において、東京海上スマート GX の支援に関する情報提供を順次開始します。当社と東京海上スマートＧＸは、本連携を通じてサプライヤーの脱炭素化を支援し、サプライチェーン全体での温室効果ガス排出量削減を進めてまいります。

【東京海上スマート GX 株式会社について】

東京海上スマート GX 株式会社は、2025 年 10 月、脱炭素社会の実現に向けた東京海上グループの新たな取組として、東京海上ホールディングス 100%出資により発足しました。

気候変動に伴う自然災害の多発・激甚化が社会や経済に大きな影響を及ぼす中、東京海上グループは安心・安全を提供するというパーパスのもと、従来のリスク引き受けにとどまらず、社会の脱炭素化を支援する事業に取り組んでいます。

今回ご案内の取組みは、SDGs の 17 のゴールのうち、特に 7 番、13 番に貢献するものと考えています。

JR西日本グループ SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
JR西日本グループは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

